

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第76回 ビジネス文書実務検定試験 (8.7.5)

第 3 級

速 度 部 門 問 題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔 書 式 設 定 〕

- a. 1 行の文字数を 3 0 字に設定すること。
- b. フォントの種類は明朝体とすること。
- c. プロポーションナルフォントは使用しないこと。

〔 注 意 事 項 〕

- 1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
- 2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
- 3. 長音は必ず長音記号を用いること。
- 4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
- 5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
- 6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受 験 番 号

第76回 ビジネス文書実務検定試験 (8.7.5)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

ほうじ茶は、緑茶の葉を高温で加熱して作られる日本の飲み物で	30
ある。熱を加えることで茶色に変化し、香ばしくなる。苦みや渋み	60
が抑えられ、やさしい口当たりとなるのが特徴だ。	84
和食に限らず、洋食や甘い菓子とも合い、ほかの茶飲料と比べて	114
も食事との相性が良い。カフェインが少量のため、緑茶や紅茶より	144
就寝前の水分補給に適しているという。さらに、身体への刺激が少	174
なく、リラックス効果があり、病院でも飲用されている。	201
近年では、ほうじ茶を使用した菓子やアレンジした飲み物が販売	231
され、手軽に味わえる機会が増えた。それにより、若い人の間でも	261
人気が高まっている。ほうじ茶は、茶飲料の枠をこえて、今後もよ	291
り多くの人たちに親しまれていくだろう。	310